

# 業務部速報

No. 45

発行 15. 10. 28

JR東労組 業務部

申12号

## 「京浜東北・根岸線および横浜線の乗務員基地再編成」の中止見直しを求める緊急申し入れ 10回目交渉

第2項 京浜東北・根岸線の輸送品質・サービス品質を向上させるため、輸送量が最も多い赤羽～蒲田間の乗務員を確保し、線区全体の輸送段差と異常時を考慮した乗務員配置とすること。

前回交渉までの対立点を整理するために、冒頭会社から考え方が提起される!

会社

### 【仕業検査をさいたま車両センターから下十条運転区に出張して行った事象】

- ◆調べた結果、実際には1件発生している。(組合は3件発生していると指摘)
- ◆下十条運転区に出張し仕業検査を行ったことは、基地再編成の施策で生じたものではない
- ◆仕業検査切れを起こさないことが大事であり、効率的な運用として出張で検査を行った。
- ◆過去も臨回電を走らせるという同事象はあった。
- ◆異常時や「平・休」「休・平」ダイヤで車両をさいたまに戻せない事象が発生した。

そもそも、そもそも、そもそも、  
施策以前の問題だ!

組合

- 再編とは別な問題と言うが、京浜東北線で発生していたそもそもの課題を改善していない!
- なぜ今回のような事象が発生しているのかが明確ではない。対応した結果だけで、過程が明らかでない。
- 発生事象に対する対処方法を指摘しているわけでない。下十条の機能が変更する事で発生している!

会社

- ◆再編前にも数件発生している時もあり、再編で発生しているということではない。
- ◆基本的には「運用変更」で行うが、「仕業検査切れ」がそうならないときもある。

再編は効果的なのか?

組合

基地再編成前からの問題であり、留置見直して改善するべき!  
根本の問題は、留置箇所である!

会社

### 【車両の全般清掃におけるアンバランス】

- ◆ダイヤ改正前後の3ヶ月間(26年10月～12月、27年4月～6月)の実績を調べたが、3ヶ月間で全般清掃が出来なかった車両は昨年度1本。月間で見たとときには、数本ある。月間の数字示さず!
- ◆個別の事象でも回っていて、清掃のアンバランスは生じていない。

組合

- 調査する時間を設けたのに、月ごとで清掃が出来ていない数字を示せないのか?

・・・交渉中断・・・

全般清掃は、月1回実施する。確認!

会社

- ◆「調べたが、5月は11本、8月は16本あった。」1ヶ月に1回程度清掃していく。
- ◆計画的に実施できており、お客さまに不快な車両を提供しているわけではない。

しかし、現実には...

組合

- 運用での制約が生じている。モセの体制変更で、良くなったと言い切れない!

1回も清掃していない車両がある

再編成施策によって、検査体制、車両清掃に制約が生じたら、直ちに見直すべき!

確認!

次回交渉で、会社が示した「蒲田電車区構内」と「磯子に乗務員基地を建設するメリット」を議論します!  
検査、車両清掃体制が向上する、乗務員基地の再編成を実現しよう!!